

令和7年度

# 当初予算資料

黒石市

# 令和7年度当初予算の概要

## 1 基本的な考え方

国は、社会保障関係費、人件費の増加等が見込まれる中、地方公共団体が、住民のニーズに的確に応えつつ、様々な行政課題に対応し、行政サービスを安定的に提供できるよう、交付団体を始め地方が安定的な財政運営を行うために必要となる一般財源総額について、令和6年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保することを基本として地方財政対策を講ずることとした。

本市の予算は、歳入では、各事業費の財源として、国庫支出金を39億8,808万7千円、市債を23億760万円で見込んだほか、一般財源として、税収を39億9,776万8千円、地方交付税を60億8,618万3千円で見込み、一般財源総額を102億4,099万8千円とした。

なお、財政計画で財政調整基金の活用も見込んでおり、2億8,000万円を繰入れすることとした。

歳出では、まず、「自立したまち」を実現するため、地区の活動拠点を社会教育法の適用を受ける公民館から同法の適用を受けないコミュニティセンターへと移行し、地域の取り組みの自由度を上げ、コミュニティ活動の活性化・強化を図る「公民館コミュニティセンター化事業」に新たに取り組むほか、ごみ処理広域化の準備として、資源ごみ回収拠点へ廃蛍光管等回収ボックスの設置、2市1町による指定ごみ袋の共通化などを事業内容とする「ごみ処理広域化スタートアップ事業」を実施する。

次に、「元気なまち」を実現するため、歴史的景観形成地区であるこみせの電柱・電線をなくし良好な景観を形成する「前町野添線無電柱化及び道路美装化事業」を実施し令和12年度の完成を目指す。また、市民が芸術に触れ、学べる場を創出する「(仮称)黒石市立子ども美術館整備事業」は、開館に向けて建設工事の完了及び管理・運営方針を検討する。

更に、「安心なまち」を実現するため、災害時に市役所機能を維持し、市民の安全を確保する「新庁舎建設事業」に着手するほか、旧中郷小学校跡地を防災公園として整備する「中央防災公園施設整備事業」を継続する。

今後も、歳出抑制の継続と、財源の確保に努めながら、田園観光産業プラス環境都市を目指し、「自立した黒石」「元気な黒石」「安心な黒石」の実現に向けて取り組んで行く。

## 2 予算の規模

- ・ 一般会計 200億2,900万円 (前年度当初 183億8,000万円)  
(前年度当初比 +16億4,900万円、+9.0%)
- ・ 特別会計等 359億1,736万3千円 (前年度当初 345億3,941万3千円)  
含む合計額 (前年度当初比 +13億7,795万円、+4.0%)

## 各会計予算比較表

(単位 千円)

会計別	令和7年度 当初予算額	令和6年度 当初予算額	対前年度	
			増減額	増減率 (%)
一般会計	20,029,000	18,380,000	1,649,000	9.0
黒石病院計	5,303,424	5,299,090	4,334	0.1
水事業会道計	985,265	1,123,220	△ 137,955	△ 12.3
公共下水道計	1,233,392	1,294,922	△ 61,530	△ 4.8
農業集落排水計	23,008	24,670	△ 1,662	△ 6.7
(企業会計合計)	7,545,089	7,741,902	△ 196,813	△ 2.5
国民健康保険計	3,825,137	3,915,735	△ 90,598	△ 2.3
後期高齢者医療計	483,856	468,949	14,907	3.2
姥懐霊園墓地計	7,362	7,343	19	0.3
介護保険計	4,015,520	4,012,857	2,663	0.1
温泉供給事業計	11,399	12,627	△ 1,228	△ 9.7
(特別会計合計)	8,343,274	8,417,511	△ 74,237	△ 0.9
合計	35,917,363	34,539,413	1,377,950	4.0

# 一般会計予算款別等比較表

(歳入)

(単位 千円、%)

区 分	令和7年度 当初予算額	構成比	令和6年度 当初予算額	構成比	増減額	増減率
1 市 税	3,049,048	15.2	2,926,103	15.9	122,945	4.2
2 地 方 譲 与 税	133,400	0.7	135,653	0.7	△ 2,253	△ 1.7
3 利 子 割 交 付 金	1,905	0.0	965	0.0	940	97.4
4 配 当 割 交 付 金	7,644	0.0	8,816	0.1	△ 1,172	△ 13.3
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	9,666	0.0	3,155	0.0	6,511	206.4
6 法 人 事 業 税 交 付 金	43,298	0.2	37,167	0.2	6,131	16.5
7 地 方 消 費 税 交 付 金	872,771	4.4	758,370	4.1	114,401	15.1
8 環 境 性 能 割 交 付 金	13,436	0.1	11,012	0.1	2,424	22.0
9 地 方 特 例 交 付 金	23,647	0.1	124,242	0.7	△ 100,595	△ 81.0
10 地 方 交 付 税	6,086,183	30.4	6,259,805	34.1	△ 173,622	△ 2.8
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	3,400	0.0	3,600	0.0	△ 200	△ 5.6
12 分 担 金 及 び 負 担 金	100,949	0.5	134,847	0.7	△ 33,898	△ 25.1
13 使 用 料 及 び 手 数 料	162,079	0.8	145,450	0.8	16,629	11.4
14 国 庫 支 出 金	3,988,087	19.9	3,350,538	18.2	637,549	19.0
15 県 支 出 金	1,478,336	7.4	1,293,094	7.0	185,242	14.3
16 財 産 収 入	16,140	0.1	7,654	0.1	8,486	110.9
17 寄 附 金	453,489	2.3	512,614	2.8	△ 59,125	△ 11.5
18 繰 入 金	595,184	3.0	561,980	3.1	33,204	5.9
19 繰 越 金	80,000	0.4	80,000	0.4	0	0.0
20 諸 収 入	602,738	3.0	273,053	1.5	329,685	120.7
21 市 債	2,307,600	11.5	1,751,882	9.5	555,718	31.7
合 計	20,029,000	100.0	18,380,000	100.0	1,649,000	9.0
自 主 財 源	5,059,627	25.3	4,641,701	25.3	417,926	9.0
依 存 財 源	14,969,373	74.7	13,738,299	74.7	1,231,074	9.0
合 計	20,029,000	100.0	18,380,000	100.0	1,649,000	9.0

(歳出)

(単位 千円、%)

区 分	令和7年度 当初予算額	構成比	令和6年度 当初予算額	構成比	増減額	増減率	
1 議 会 費	165,929	0.8	169,670	0.9	△ 3,741	△ 2.2	
2 総 務 費	3,576,428	17.9	2,917,337	15.9	659,091	22.6	
3 民 生 費	7,060,819	35.3	6,648,827	36.2	411,992	6.2	
4 衛 生 費	1,523,222	7.6	1,449,501	7.9	73,721	5.1	
5 労 働 費	12,668	0.1	12,099	0.1	569	4.7	
6 農 林 水 産 業 費	562,409	2.8	481,823	2.6	80,586	16.7	
7 商 工 費	864,746	4.3	576,542	3.1	288,204	50.0	
8 土 木 費	1,852,205	9.2	1,468,334	8.0	383,871	26.1	
9 消 防 費	842,118	4.2	777,841	4.2	64,277	8.3	
10 教 育 費	2,358,942	11.8	2,620,595	14.3	△ 261,653	△ 10.0	
11 災 害 復 旧 費	4,742	0.0	6,049	0.0	△ 1,307	△ 21.6	
12 公 債 費	1,176,772	5.9	1,223,382	6.7	△ 46,610	△ 3.8	
13 予 備 費	28,000	0.1	28,000	0.1	0	0.0	
合 計	20,029,000	100.0	18,380,000	100.0	1,649,000	9.0	
投資的経費	補 助 事 業 費	1,580,363	7.9	614,616	3.3	965,747	157.1
	単 独 事 業 費	1,587,262	7.9	1,716,995	9.3	△ 129,733	△ 7.6
	(小 計)	3,167,625	15.8	2,331,611	12.7	836,014	35.9
	災 害 復 旧 事 業 費	5,101	0.0	6,528	0.0	△ 1,427	△ 21.9
合 計	3,172,726	15.8	2,338,139	12.7	834,587	35.7	

## 一般会計予算性質別比較表

(歳入)

(単位 千円、%)

区 分	令和7年度 当初予算額	構成比	令和6年度 当初予算額	構成比	増減額	増減率
自 主 財 源	5,059,627	25.3	4,641,701	25.3	417,926	9.0
市 税	3,049,048	15.2	2,926,103	15.9	122,945	4.2
分担金及び負担金	100,949	0.5	134,847	0.7	△ 33,898	△ 25.1
使用料及び手数料	162,079	0.8	145,450	0.8	16,629	11.4
財産収入	16,140	0.1	7,654	0.1	8,486	110.9
寄 附 金	453,489	2.3	512,614	2.8	△ 59,125	△ 11.5
繰 入 金	595,184	3.0	561,980	3.1	33,204	5.9
諸 収 入	602,738	3.0	273,053	1.5	329,685	120.7
繰 越 金	80,000	0.4	80,000	0.4	0	0.0
依 存 財 源	14,969,373	74.7	13,738,299	74.7	1,231,074	9.0
地 方 譲 与 税	133,400	0.7	135,653	0.7	△ 2,253	△ 1.7
利子割交付金	1,905	0.0	965	0.0	940	97.4
配当割交付金	7,644	0.0	8,816	0.1	△ 1,172	△ 13.3
株式等譲渡所得割交付金	9,666	0.0	3,155	0.0	6,511	206.4
法人事業税交付金	43,298	0.2	37,167	0.2	6,131	16.5
地方消費税交付金	872,771	4.4	758,370	4.1	114,401	15.1
環境性能割交付金	13,436	0.1	11,012	0.1	2,424	22.0
地方特例交付金	23,647	0.1	124,242	0.7	△ 100,595	△ 81.0
地方交付税	6,086,183	30.4	6,259,805	34.1	△ 173,622	△ 2.8
交通安全対策特別交付金	3,400	0.0	3,600	0.0	△ 200	△ 5.6
国庫支出金	3,988,087	19.9	3,350,538	18.2	637,549	19.0
県 支 出 金	1,478,336	7.4	1,293,094	7.0	185,242	14.3
市 債	2,307,600	11.5	1,751,882	9.5	555,718	31.7
合 計	20,029,000	100.0	18,380,000	100.0	1,649,000	9.0

(歳出)

(単位 千円、%)

区 分	令和7年度 当初予算額	構成比	令和6年度 当初予算額	構成比	増減額	増減率
義 務 的 経 費	8,544,126	42.6	8,103,023	44.1	441,103	5.4
人 件 費	2,546,992	12.7	2,383,805	13.0	163,187	6.8
扶 助 費	4,834,850	24.1	4,510,721	24.5	324,129	7.2
公 債 費	1,162,284	5.8	1,208,497	6.6	△ 46,213	△ 3.8
投 資 的 経 費	3,172,726	15.8	2,338,139	12.7	834,587	35.7
普通建設事業費	3,167,625	15.8	2,331,611	12.7	836,014	35.9
災害復旧事業費	5,101	0.0	6,528	0.0	△ 1,427	△ 21.9
そ の 他	8,312,148	41.6	7,938,838	43.2	373,310	4.7
物 件 費	2,649,856	13.3	2,594,499	14.1	55,357	2.1
維持補修費	422,862	2.1	432,503	2.4	△ 9,641	△ 2.2
補助費等	3,080,393	15.4	2,759,487	15.0	320,906	11.6
積 立 金	481,564	2.4	517,228	2.8	△ 35,664	△ 6.9
投資及び出資金	1,611	0.0	1,112	0.0	499	44.9
貸 付 金	112,200	0.6	111,600	0.6	600	0.5
繰 出 金	1,563,662	7.8	1,522,409	8.3	41,253	2.7
合 計	20,029,000	100.0	18,380,000	100.0	1,649,000	9.0

一部事務組合負担金・企業会計補助金・特別会計繰出金の状況

(単位 千円、%)

一部事務組合負担金	令和7年度 当初予算 A	令和6年度 当初予算 B	対前年度 増減額A-B	対前年度 増減率
黒石地区清掃施設組合	317,873	314,420	3,453	1.1
弘前地区消防事務組合	656,003	650,772	5,231	0.8
津軽広域連合(総務費+障害判定)	6,430	6,254	176	2.8
津軽広域連合(L尿等希釈投入施設)	38,511	38,015	496	1.3
青森県後期高齢者医療広域連合	391,844	379,248	12,596	3.3
青森県市町村総合事務組合	16,509	16,509	0	0.0
合計	1,427,170	1,399,186	21,952	1.6

企業会計補助金	令和7年度 当初予算 A	令和6年度 当初予算 B	対前年度 増減額A-B	対前年度 増減率
病院事業会計	550,000	550,000	0	0.0
水道事業会計	3,418	3,814	△ 396	△ 10.4
公共下水道事業会計	155,662	148,957	6,705	4.5
農業集落排水事業会計	9,670	11,388	△ 1,718	△ 15.1
合計	718,750	714,159	4,591	0.6

特別会計繰出金	令和7年度 当初予算 A	令和6年度 当初予算 B	対前年度 増減額A-B	対前年度 増減率
国民健康保険特別会計	344,342	337,222	7,120	2.1
後期高齢者医療特別会計	193,361	178,405	14,956	8.4
介護保険特別会計	634,115	627,534	6,581	1.0
合計	1,171,818	1,143,161	28,657	2.5



# 主要な施策について

# 令和7年度 黒石市主要施策一覧

**重**: 重点事業

**新**: 新規事業

## 1. 自立したまち

### (1) 地域コミュニティの活性化で自立したまち（協働）

<b>重</b>	<b>新</b>	① ささえ合いの地域づくり事業 (公民館のコミュニティセンター化事業)	5,813 千円
		地区の活動拠点を社会教育法の適用を受ける公民館から社会教育法の適用を受けないコミュニティセンターへと移行することによって、地域の取組の自由度をあげ、コミュニティ活動の活性化・強化を図る。	
		② 老人クラブ活動への支援事業	1,725 千円
		③ 生ごみ処理コミュニティビジネス事業	736 千円
<b>重</b>	<b>新</b>	④ ごみ処理広域化スタートアップ事業	43,613 千円
		令和8年度のごみ処理広域化に向け、プラスチック資源一括回収リサイクルをはじめとする分別区分の一部変更に対応するほか、指定ごみ袋の規格及び価格を近隣市町村間で統一し、ごみ減量化・再資源化を推進する。	
		⑤ 地域学校協働活動推進事業	44 千円

### (2) しごとづくりで自立したまち（産業振興）

<b>重</b>	① 人材確保・就職支援事業	670 千円
	② シルバー人材センター事業	9,380 千円
	③ 移住支援事業	2,618 千円
	④ 新規就農による地域おこし協力隊活動事業	6,006 千円
	⑤ 農産物等輸出促進事業	440 千円
	⑥ くろいし人財不足対策“兼業農家”育成モデル事業	5,493 千円
	⑦ 黄美香メロンブランド化推進事業	250 千円
	⑧ グランファーム応援事業	15,000 千円
	⑨ グルテンフリー米粉振興くろいしモデル事業	811 千円
	⑩ 黒石産「ムツニシキ」パブリシティ戦略事業	666 千円
	⑪ ブランド桃産地生産性向上事業	10,244 千円
	⑫ 果樹園地パトナタッチ円滑化事業	300 千円
	⑬ 中山間地域等直接支払交付金事業	49,165 千円
	⑭ 強い農林水産業のための基盤づくり事業	42,995 千円
	⑮ 農地中間管理事業	3,853 千円
	⑯ 多面的機能支払交付金事業	40,423 千円
	⑰ 新規就農者経営開始資金事業	32,596 千円
	⑱ 農業次世代人材投資資金交付事業	3,083 千円
	⑲ くろいし有機農業産地づくり推進事業	5,244 千円
	⑳ 環境保全型農業直接支払交付金事業	6,720 千円
	㉑ 特別保証制度事業	126,756 千円
	㉒ 中心商店街空き店舗対策事業	3,208 千円
	㉓ 創業・起業支援事業	3,410 千円
	㉔ 黒石産品販路拡大支援事業	1,900 千円
	㉕ 黒石ICロジスティクスクロッシング推進事業	314 千円

### (3) 健全で効率的な行財政運営で自立したまち（行政経営）

<b>重</b>	① 市公式LINEきてきて黒石ともだち登録激増大作戦	3,939 千円
----------	----------------------------	----------



## 2. 元気なまち

### (1) 歴史と伝統を生かした元気なまち（文化）

重	新	① こみせ木材利用補助金事業	1,650 千円
		② 伝統のお祭り継承事業	21,634 千円
		③ ルビンのこけし2を活用した観光PR事業	2,983 千円
		④ 前町野添線無電柱化及び道路美装化事業	122,891 千円
歴史的景観形成地区であるこみせ通りの電柱・電線をなくし、良好な景観を形成する。			
		⑤ 歴史的景観形成事業	2,736 千円
		⑥ 伝統的建造物群保存地区基盤強化事業	7,489 千円
		⑦ 国指定文化財管理事業	10,277 千円
		⑧ 黒石市文化祭補助金事業	1,018 千円

### (2) 憩いとにぎわいの場所を育む元気なまち（交流）

重	① 空き校舎利活用改修事業	64,296 千円
	② 地域公共交通関係事業	6,585 千円
	③ 公共交通補助事業	97,678 千円
	④ 松の湯交流館管理運営事業	15,493 千円
	⑤ (仮称) 黒石市立子ども美術館整備事業	678,699 千円

### (3) 新しい人の流れの創出で元気なまち（観光・人材）

① 移住交流推進事業	1,404 千円
② 宮古市交流事業	700 千円
③ 空き家利活用事業	2,663 千円
④ ワーキングホリデー黒石事業	1,367 千円
⑤ 中野もみじ山誘客推進事業	6,698 千円
⑥ 観光団体振興・支援事業	
黒石こみせまつり	1,300 千円
黒石観光協会	15,709 千円
黒石りんごまつり	1,580 千円
黒石駅前観光案内所運営事業	5,800 千円
⑦ 観光施設適正管理・運営事業	482,291 千円
⑧ インバウンド観光推進事業	5,411 千円

### 3. 安心なまち

#### (1) 子育て支援と教育環境の充実で安心なまち（子育て・教育）

	① くろいし若者みらい応援奨学金返還サポート ～奨学金返還支援事業～	10,336 千円
	② 子ども発達巡回支援事業	1,268 千円
	③ 児童手当給付事業	600,752 千円
	④ 子ども医療費給付事業	108,765 千円
	⑤ 児童扶養手当給付事業	185,713 千円
	⑥ ひとり親家庭等医療費給付事業	31,663 千円
	⑦ 子どものための教育・保育給付事業	1,467,616 千円
	⑧ 障害児保育事業	22,649 千円
	⑨ 延長保育事業	23,242 千円
	⑩ 一時預かり事業	30,264 千円
	⑪ 病後児保育事業	10,434 千円
	⑫ 放課後児童健全育成事業	138,919 千円
	⑬ 地域子育て支援拠点事業	38,956 千円
	⑭ 要保護児童対策事業	3,652 千円
	⑮ こどもインフルエンザ予防接種費用助成事業	1,466 千円
	⑯ 養育支援訪問事業	55 千円
重	⑰ 算数・数学UPる先生事業	11,692 千円
	⑱ やる気「UPる」塾事業	559 千円
	⑲ 教育相談・学習適応指導教室事業	11,933 千円
重	⑳ 英検プレミアムサポートプロジェクト	1,106 千円
	㉑ 小・中学校施設整備事業	85,826 千円
	㉒ 小・中学校給食事業	250,597 千円
	㉓ 家庭教育事業	254 千円
	㉔ 未来を担うリーダー養成研修会事業	953 千円

#### (2) 地域福祉の充実で安心なまち（福祉）

	① 特別障害者手当等給付事業	24,499 千円
	② 重度心身障害者医療費助成事業	30,674 千円
	③ 自立支援医療費給付事業	70,076 千円
	④ 障害福祉サービス等給付事業	923,157 千円
	⑤ 障害児通所給付事業	183,171 千円
	⑥ 手話言語普及事業	320 千円
	⑦ 地域ささえ合い活動支援事業	3,095 千円
	⑧ 敬老会事業	8,742 千円
	⑨ 老人福祉センター管理運営事業	38,106 千円
	⑩ 高齢者世帯等除雪サービス事業	3,867 千円
	⑪ 高齢者地域見守り事業	3,778 千円
	⑫ 養護老人ホーム入所措置事業	38,971 千円

### (3) 健康づくりの推進で安心なまち（健康）

重	① 定期予防接種再接種費用助成事業	417 千円
	② 地域健康づくり相談事業	1,229 千円
	③ がん検診事業	76,986 千円
	④ 市民運動会事業	505 千円
	⑤ 国民健康保険若年層メタボリックシンドローム検診費用助成事業	202 千円
重	⑥ 国民健康保険インフルエンザ予防接種費用助成事業	772 千円
	⑦ 国民健康保険脳ドック検診費用助成事業	1,676 千円
新	⑧ 第80回国民スポーツ大会バドミントン競技会事業	26,046 千円
<p>2026年10月開催予定の「青の煌めきあおもり国スポ第80回国民スポーツ大会バドミントン競技会」に向けて競技環境の整備を進め、2025年11月にリハーサル大会として、バドミントン社会人リーグ「S/JリーグII」を開催する。</p>		
重	⑨ 旧黒石商業高等学校第一体育館改修事業	96,812 千円
<p>県から無償譲渡された旧黒石商業高校第一体育館を改修し、野球・フットサル・グラウンドゴルフ等の練習ができる全天候型トレーニングセンターとして活用する。</p>		

### (4) みんなが暮らしやすい安心なまち（安全・安心）

重	新	① 新本庁舎建設事業	694,629 千円
<p>老朽化が著しく、耐震不足と判定された市役所本庁舎を新たに整備することにより、防災拠点としての安全性を確保し、防災機能の強化を図る。</p>			
重		② 橋梁長寿命化事業	205,164 千円
		③ 中央防災公園施設整備事業	263,810 千円
		④ 防災士養成補助事業 ～地域の防災リーダーになろう～	600 千円

# 新規重点事業等の概要

---

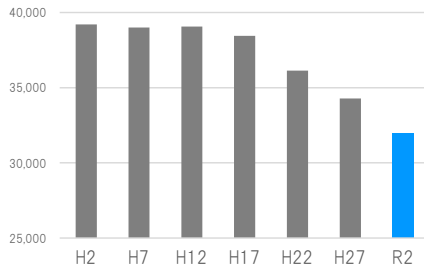


# 公民館のコミュニティセンター化事業【新規】

R7年度新規事業  
事業費：5,813千円

## 現状と課題

国勢調査による人口推移



30年間で約7千人減少

少子高齢化や人口減少が進むことで



病院・介護施設の不足



交通機関の減便  
商店の閉店

これまで当たり前だった社会が  
成り立たなくなることが見込まれる

## 事業内容

市内の全公民館をコミュニティセンターへ移行し、令和8年度からの運用開始を目指す。  
地区の活動拠点を社会教育法の適用を受ける公民館から社会教育法の適用を受けないコミュニティセンターへと移行することによって、地域の取組の自由度をあげ、コミュニティ活動の活性化・強化を図る。

### 第1段階 (R6)

- ・地区との意見交換会実施
- ・課題の整理



### 第2段階 (R7)

- ・地区との意見交換会実施
- ・税や収益事業、意識醸成に向けた勉強会の開催
- ・地区住民と行くセンター化の先進地視察
- ・地区センター条例の制定



センター化へ向けた  
意識醸成を図る

### 第3段階 (R8～)

- ・コミュニティセンターとしての運営開始
- ・各地区と市の協働によるささえ合いの地域づくりの推進



コミュニティ活動の活発化により自主防災や見守り活動など暮らしの安心につながる取組が強化

いくつになっても安心して暮らしていくことのできる黒石市を目指す

# ごみ処理広域化スタートアップ事業【新規】

R7年度 43,613千円

## 【現状・課題】

### 現 状

1 R8年度 津軽地域8市町村によるごみ処理  
広域化開始

～R7年度末☆

☆R8年度～

【黒清組合5市町村】

【弘環組合8市町村】

- ① 黒石市
- ② 青森市
- ③ 平川市 (尾上地区)
- ④ 藤崎町 (常盤地区)
- ⑤ 田舎館村

- ① 弘前市
- ② 黒石市
- ③ 平川市
- ④ 藤崎町
- ⑤ 大鰐町
- ⑥ 板柳町
- ⑦ 田舎館村
- ⑧ 西目屋村



2 本市のごみ処理実績 (R4年度)

- ・1人1日当たりごみ排出量…900g  
(対前年比36g減)
- ・リサイクル率…13.5% (対前年比0.3%増)

### 課 題

1 ごみ処理広域化に伴う分別区分変更

- ・プラスチック資源一括回収リサイクル開始
  - ・水銀使用廃製品 (廃蛍光管、廃電池類、水銀体温計等) の分別・再資源化開始
- ⇒回収拠点の整備、分別方法等の周知が必要

2 ごみ減量化・再資源化の推進

- ・弘環組合負担金は、構成市町村から処理施設へのごみ搬入量割合で算定
- ⇒ごみ減量がごみ処理費用の削減につながる

## 【事業内容】

①資源ごみ回収町内ステーション補助制度の  
拡充 75千円×10か所 (750千円)

- ・現状：町内会が集団回収等のために新設する資源ごみ回収ステーションの設置費用の一部を補助
- ・改正：町内会が管理するごみステーション (可燃・不燃・資源) の設置・修繕費用の一部を補助  
【補助率1/2、上限75千円は変更なし】

新

②資源回収拠点への廃蛍光管等回収BOX設置  
(197千円)

- ・R8年度から弘環組合8市町村で水銀使用廃製品の分別回収・再資源化が開始される。
- ・現在廃電池類回収BOXを設置している市内公民館等11か所に廃蛍光管等回収BOXを設置 (～R7年度末)。

新

③2市1町による指定ごみ袋の共通化  
(ごみ袋製造費+手数料徴収委託料)×3ヶ月他 (40,811千円)

- ・スケールメリットを活かしながらごみ減量化と住民サービスを両立するため、平川市、藤崎町と連携しR7年12月を目標に、2市1町で規格及び価格を統一した共通指定ごみ袋の流通を開始。  
【600円(45L、10枚)⇒400円(40L、10枚)】

新

④おさがり会の開催支援 (260千円)

- ・排出量、件数ともに増加傾向にある粗大ごみ等の減量を図るため、使用可能な家具家電、子ども用衣類、スキー用品等を交換する場「おさがり会」を創出。
- ・「おさがり会」の開催団体へ運営費の一部を補助。

⑤資源ごみ回収運動報償金対象品目の拡充  
(1,595千円)

- ・町内会、PTA等が実施している資源物の集団回収を推進するため、現行制度を見直し対象品目を拡充。  
⇒時勢に合わせ、対象品目 (古紙、空缶、空き瓶) にペットボトルを追加。【報償金5円/kgは変更なし】

## 【効 果】

### 【事業のアウトカム】

1 ごみ処理広域化により津軽地域  
8市町村における分別区分、処理  
方法を統一

2 費用対効果の高いごみ減量化施  
策を集中的に実施することで、効  
果的にごみ排出量を削減

### 【目標】

ごみ排出量 -20t / 年  
(事業④で -5.6t、事業⑤で -14.4t)

### 【最終アウトカム】

1 安定的な住民サービスと効率的  
なごみ処理体制を両立

2 将来的な弘環組合施設の集約、  
建替等に向け、ごみ減量化を進め  
半永久的に財政負担を削減

⇒ 持続可能な行政経営

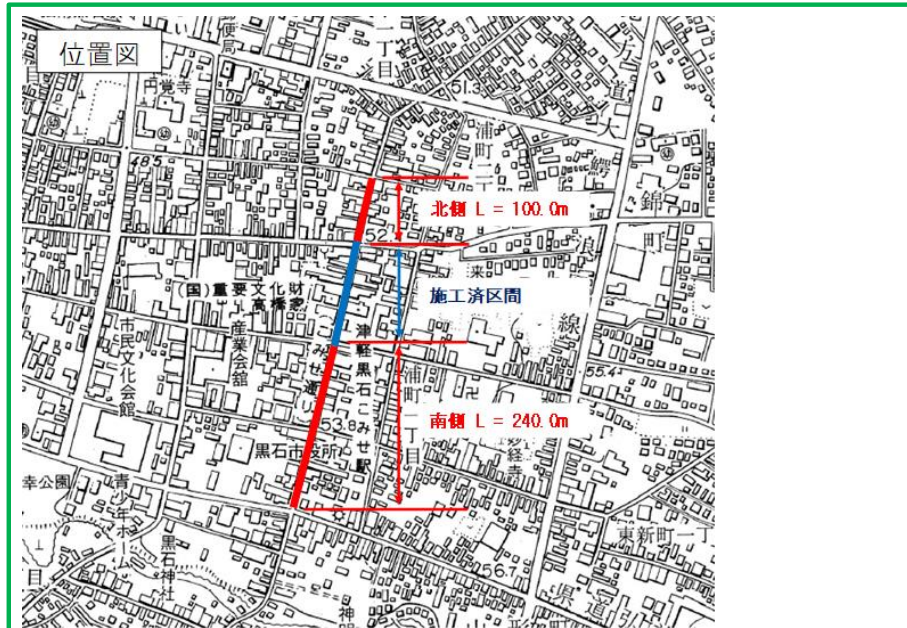
SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



## 前町野添線無電柱化及び道路美装化事業【新規】

建設部土木課・都市建築課

事業主体	黒石市	全体事業費	C=514,815千円(土木課・都市建築課)	事業期間	令和7年度～令和12年度
事業内容	電線共同溝工 L=340.0m 道路美装化工 L=340.0m				
事業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度 電線共同溝工事(北側・南側)、引込管・連系管工事(北側)、用地測量、用地買収</li> <li>・令和8年度 電線共同溝工事(北側・南側)、引込管・連系管工事(北側)、街路灯工事(北側)</li> <li>・令和9年度 電線共同溝工事(南側)、引込管・連系管工事(南側)、通線抜柱工事(北側)、道路美装化工事 L=100.0m(北側)</li> <li>・令和10年度 電線共同溝工事(南側)、引込管・連系管工事(南側)、街路灯工事(南側)</li> <li>・令和11年度 通線抜柱工事(南側)</li> <li>・令和12年度 道路美装化工事 L=240.0m(南側)</li> </ul>				
国庫補助金	・無電柱化推進事業費補助金【補助率:58.3%】、街なみ環境整備事業【補助率:1/2】				
R7要求額	C=122,891千円(国費:71,126千円)				
事業内容	電線共同溝工事(北側・南側)N=1.0式、引込管・連系管工事(北側)N=1.0式、用地測量業務委託 N=1.0式、用地買収 A=40.59㎡				



### 目的

- ・歴史的景観形成地区であるこみせ通りの電柱・電線をなくし、良好な景観を形成する
- ・通行空間の安全性、快適性を確保する
- ・電柱の倒壊による道路の寸断を防止する

施工済区間(中町地区)



着手前



完成

### 効果

- ・回遊環境の向上による地域の活性化
- ・まちなかの観光推進とゆとりある生活環境づくり
- ・安全で快適な歩行空間の整備

## 第80回国民スポーツ大会バドミントン競技会事業（新規）

R7年度 26,046千円

### 【現状・課題】

2026年10月開催予定の「青の煌めきあおり国スポ第80回国民スポーツ大会バドミントン競技会」に向け、競技会運営能力の向上や市民の大会と競技に対する関心と理解を高め、開催の機運醸成を図るとともに、競技環境の整備を進めてきており、2025年11月にリハーサル大会として、バドミントン社会人リーグ「S/JリーグⅡ」を開催する。



### 課 題

#### □ 本大会、リハーサル大会の円滑な運営

大会運営を円滑に進めていくためには、競技団体（青森県バドミントン協会等）、事業者等と連携し、万全な体制を構築することが必要不可欠。

#### □ 施設環境の整備

競技会場となるスポカライン黒石では、大会開催を念頭に、経年箇所等の改修や競技用品を購入するなど、選手の競技環境の充実を図ってきており、今後は、トイレ改修や駐車場の外構工事など、施設環境の整備が必要。

### 【事業内容】

#### 令和7年度 リハーサル大会(S/JリーグⅡ)の開催

リハーサル大会を開催することで、課題や改善点を洗い出し、次年度への体制整備を図る。また、国民スポーツ大会の開催に対応できるよう施設を整備する。

- ・大会運営費 10,710千円
- ・改修工事費 11,693千円（トイレ、外構工事等）

ほか



#### 令和8年度 第80回国民スポーツ大会バドミントン競技会の開催

関係団体並びに民間企業等と連携し、適正な会場設営及び円滑な競技運営を行い、選手団、役員、観客などの受け入れ体制の充実を図る。

- ・大会運営費等 79,709千円



【補助金】 青の煌めきあおり国スポ会場地市町村運営交付金 (2/3補助)  
青の煌めきあおり国スポ競技別リハーサル大会運営費補助金 (1/2補助)

### 【効 果】

令和7年度にリハーサル大会、令和8年度に本大会を開催することで、市民がスポーツに対する関心度を高めるほか、多くの関係者や観客など、多数の方が本市を訪れていただくことにより、黒石の多彩な魅力に触れていただく機会となるとともに、市内に賑わいの創出とリピーター獲得に繋がることが期待される。



SAGA2024国スポ・全障スポ



# 旧黒石商業高等学校第一体育館改修事業（新規）

R7年度 96,812千円

## 【現状・課題】

無償譲渡された旧黒石商業高校第一体育館を野球、フットサル、グラウンドゴルフ等の練習ができる全天候型トレーニングセンターとして活用するため、令和8年4月供用開始に向け、改修工事を実施し、隣接する黒石市立武道場（令和6年10月供用開始）とともに一体的な管理運営を行う。

### 第一体育館概要

場 所 黒石市あけぼの町97番地4  
敷地面積 5,681.79㎡  
構造・階数 鉄骨造2階建  
延床面積 1,116.7㎡  
建 築 年 昭和52年（築48年）  
※耐震改修済



## 【事業内容】

### ①令和7年度予算

- 改修工事等費 96,812千円  
（事務費、備品購入費含む）

### ②改修内容

既存体育館を全天候型トレーニング施設へ改修

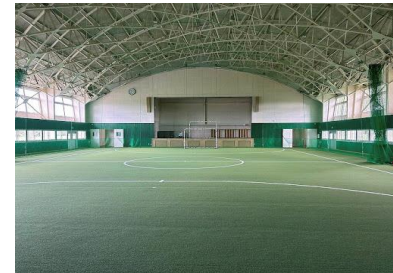
- 人工芝設置
- 防球ネット整備
- 事務室及びトイレ改修 ほか

### ③今後のスケジュール

令和6年度 設 計  
令和7年度 改修工事  
令和8年度 供用開始



既存体育館 内観



改修後 イメージ

## 【効 果】

寒冷多雪の地で全天候型トレーニング施設を整備することで、季節や天候に左右されず、1年を通して、市民及びスポーツ団体が日常的にスポーツに親しむことができ、技術力向上や競技人口の拡大が期待できる。

また、災害等有事の際は盲導犬及びペット同伴のできる避難所として活用する。

# 新本庁舎建設事業（新規）

総事業費 : 3,030,000千円  
R7年度 : 694,629千円

## 【現状・課題】

### ①現状

- ・昭和44年に建設された現在の本庁舎は、老朽化が著しい状態である。
- ・平成27年度に実施した耐震診断において、 $\lambda$ s値0.36と判定され、震度6以上の大地震で倒壊又は崩壊する危険性がある。
- ・特殊な構造であることに加え、コンクリートの強度が低下しているため、対応できる耐震補強の工法がない。
- ・令和6年10月15日に黒石市役所わのまちセンターがオープンし、市役所の窓口機能が移転している。

### ②課題

- ・地震で倒壊又は崩壊する危険性があり、来庁者や職員の安全性が確保されていない。
- ・防災拠点としての十分な機能を有していない。
- ・黒石市役所わのまちセンターの駐車場が不足している。

## 【事業内容】

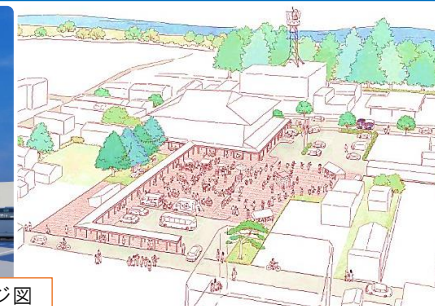
- ・新本庁舎建設工事（監理等含む）  
事業年度 R7～R8  
事業費 2,287,000千円
- ・現本庁舎解体・外構整備設計  
事業年度 R7～R8  
事業費 27,000千円
- ・現本庁舎解体工事（監理等含む）  
事業年度 R9～R10  
事業費 328,000千円
- ・外構整備工事（監理等含む）  
事業年度 R10～R11  
事業費 288,000千円
- ・備品購入  
事業年度 R8～R11  
事業費 100,000千円

## 【効果】

- ・防災拠点としての安全性が確保され、防災機能の強化につながる。
- ・市の象徴となる施設であり、中心市街地の良好な景観の形成につながる。
- ・省エネに配慮した施設とし、ランニングコストの低減につながる。
- ・わのまちセンターにアクセスしやすい駐車場を整備することにより、市民の利便性が向上する。
- ・市民の憩いの場として、わのまちセンターや新本庁舎と一体的な広場を整備することで、市民や来訪者のまちなか回遊性を向上させる。



新本庁舎イメージ図



35